

令和元年度 第3回

帯広市廃棄物減量等推進審議会 議事録

(概要)

日時 令和2年1月29日(水)

午後4時～

会場 ソネビル(本館)6階 講習会室

○ 出席委員(14人)

及川委員、兼子委員、木川委員、清川委員、齊藤委員、
佐藤委員、高田委員、高山委員、谷田委員、戸沼委員、
中村委員、松村委員、水上委員、渡邊委員

※欠席者4人

○ 事務局 川端市民環境部長、高橋清掃担当調整監、

櫻田清掃事業課長、一森清掃事業課指導担当課長、
西本主査、中村主任、土田主任

○ 傍聴等 報道関係者1人

1 開会

2 会長挨拶

3 議事

(1) 帯広市一般廃棄物処理基本計画(原案)に対するパブリックコメントの結果について、事務局より説明

○意見・質疑

特になし

(2) 帯広市一般廃棄物処理基本計画(案)について、事務局より説明

○意見・質疑

特になし

(3) その他

・令和2年度一般廃棄物処理実施計画について、事務局より説明

○意見・質疑

会 長)

実施計画を若い世代や一般の市民に分かりやすくするためのご意見を伺いたい。

委 員)

字が小さいページは、見るのが大変。

委 員)

説明文を簡潔にまとめて分かりやすくした方が、市民がもう少し関心を持って見ようという気になると思う。

委 員)

円グラフなどで見やすくするのも良いと思う。

委 員)

プラスチック製容器包装を洗って資源ごみに出す事によってどのような利益があるのかなどが書いてあると、適正排出に対する市民の理解が深まると思う。

委 員)

実施計画に記載しなければならない事項など、決まりはあるのか。

事 務 局)

特にない。

必要事項は新たに盛り込み、盛り込み切れない事項も広報周知を工夫して実施するなど、柔軟に対応していきたい。

委 員)

実施計画に対する意見聴取はどのように行うのか。

事務局)

ご意見を伺い、速やかに反映させていただく。

委 員)

実施計画は全戸配布するのか

事 務 局)

全戸配布は行っておらず、現在は市ホームページ上で公開している。

委 員)

実施計画自体の見やすさだけでなく、ホームページの見やすさも工夫してほしい。

委 員)

①基本計画によると、実施計画についての意見聴取の場は審議会のみとなっている。令和2年度の実施計画については、今回の審議会の場で概要だけでも説明いただかなければ、審議会で検証した事にならないのではないかと。

②基本計画（案）が提出されるにあたっての語句の訂正箇所についても審議会で確認する必要があると思うので、ペーパーで示してほしい。

会 長)

①について、郵送による確認も広い意味で審議会の審議の一部という位置づけで考えていたかと思われるが、審議会の場で内容についての説明がないのは、少し良くないというご意見なので、今後の審議会においてはそのような事がないように、事務局で検討いただきたい。

②について、対照表や訂正文があったら良いと思うが、事務局としてはいかがか。

事務局)

後日、新旧対照表を送付する事で、対応させていただきたい。

- ・一般廃棄物処理基本計画の実施状況と今後の取り組みについて、事務局より説明

○意見・質疑

委員)

町内会未加入者や共同住宅に対しては町内会経由の配布物（ごみコミュニティメールなど）が配布されない現状がある。新たな基本計画に基づいてごみを減量していこうというのであれば、分別方法について 改めて全戸配布するなどの周知が必要なのではないかと思う。

委員)

町内会独自でチラシを作成し3Rなどの周知を図っているが、少子化による資源回収活動の停滞などの恐れがある。行政からの周知だけでなく、町内会としても協力を求めていく方法を取っている。

委員)

町内会に頼る事での全戸配布が、現実的には難しくなっている。もう少し、町内会に頼らない配布方法なども将来的には考えていかなければならない。

事務局)

配布による周知のほか、指導員によるパトロールや収集作業員による指導シール貼り付け

など、それぞれの手法で足りない部分を補強しながら進めてまいりたい。

委 員)

目線を変えて、市の味方となってくれるような市民に対するアプローチについても、実施計画に盛り込んでいく方向で考えていただけると嬉しい。

・その他

- ・ごみをめぐる最近の主な動向について、事務局より情報提供

○意見・質疑

委 員)

くりりんセンターは建て替えなければならない時期に来ているのか。

事 務 局)

平成8年より供用開始をしており、今年で25年目。全国的に稼働期間は30年程度と言われている。

委 員)

これから着工しても、動き出すのは7年後なのか。

事 務 局)

2027年度中の稼働を目指して議論をしている。

委 員)

現施設の処理機能は1日あたり330tで、新施設では286tとなっているが、ごみの排出量の削減と人口減量を想定して、このような計画になっているのか。

事 務 局)

新施設を利用する17市町村における将来的な人口と排出量を推計した結果である。

さらに、災害が発生した際の大規模な災害廃棄物についても一定量処理する事を含めた施設規模の推計となっている。

- ・今後の予定と議事録の公開について、事務局より説明

○意見・質疑

特になし

閉会